



プライベートガレージにピッタリな100V仕様の工作機械で ワンオペパーツ製作に燃えてみる。

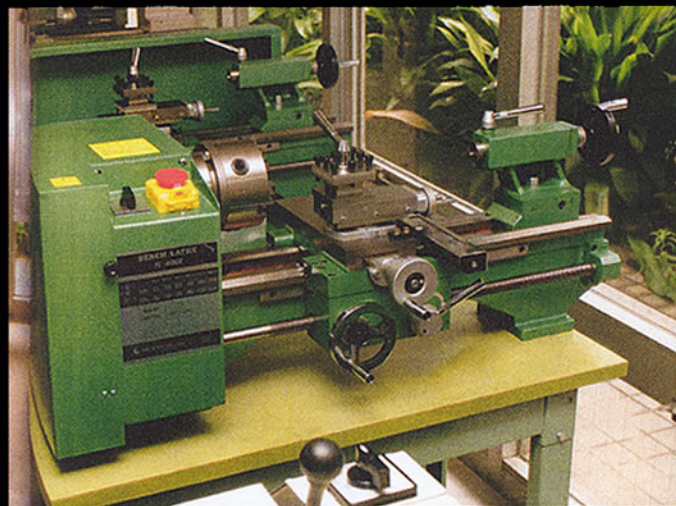
取材協力/勇貿易 Phone03-3642-3095 営業本部 <http://www.kotobuki-mechanix.co.jp> ショールーム所在地/東京都江東区住吉1-11-11

カーレッジでのバイクいじりに慣れていると、メンエンスまでたけてなる自分なりのカスタムを試してみたい。大は小を兼ねる。といっても、本当に自分にとって大きな機械が必要かどうか分らない。

そうしたサンメカにお勧めしたいのが、100V仕様の小型工作機械類だ。作業台程度のスペースで設置可能な旋盤やフライス盤などは、あまり広くないガレージでも置きやすく、電源の心配も不要。企業の試作部門や大学の研究室などで使われているこの手の工作機械のトップメーカーといえる、本誌読者にはおなじみの寿貿易である。同社が取り扱う国内製造のメカニクスブランドと輸入機のシヨップエースシリーズは、ともに豊富な商品ラインナップと素晴らしい性能、さらに細かなアフターサービスで好評を博している。ここでは同社営業部の滝本努さんに聞いた、サンメカの工作機械選びの基礎知識を紹介しよう。

旋盤でもフライス盤でも、商品を選択する際に最も重要な点は、どれほどの大きさの加工物を加工するかをはっきりさせておくことだ。とりあえず大きなものを、という気持ちも分かるが、ここで扱っているのはあくまで小型工作機械である。これを頭に入れておかなければいけない。滝本さんも「旋盤が欲しいというお客さんの中にも、何を作りたいのかを聞くとはっきりしていない人が少なくない」と言っているが工場用の大型旋盤ならいざ知らず、ここで紹介するようなデスクトップタイプの小型旋盤では、この点をはっきりさせておかないと、本当に自分が必要としているサイズの機械を購入

すると、メンエンスまでたけてなる自分なりのカスタムを試してみたい。大は小を兼ねる。といっても、本当に自分にとって大きな機械が必要かどうか分らない。そうしたサンメカにお勧めしたいのが、100V仕様の小型工作機械類だ。作業台程度のスペースで設置可能な旋盤やフライス盤などは、あまり広くないガレージでも置きやすく、電源の心配も不要。企業の試作部門や大学の研究室などで使われているこの手の工作機械のトップメーカーといえる、本誌読者にはおなじみの寿貿易である。同社が取り扱う国内製造のメカニクスブランドと輸入機のシヨップエースシリーズは、ともに豊富な商品ラインナップと素晴らしい性能、さらに細かなアフターサービスで好評を博している。ここでは同社営業部の滝本努さんに聞いた、サンメカの工作機械選びの基礎知識を紹介しよう。



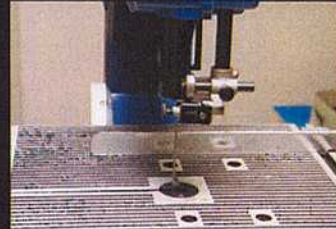
PART 5

シヨップエスの
F機械シリーズ

株式会社 シヨップエス機械事業部
150-9902 静岡市清水区



シヨップエスM18Aは加工範囲の広さが特徴の小型フライス盤。ヘッドから主軸までの高さ1360mm、加工部からコラム(後部の円柱)までのフトコロ寸法は200mm。また主軸ヘッドは水平方向に360°回転可能で、さまざまな加工物に対応できる。横送りとクロス送り量はそれぞれ355、140mm。100Vモーターは750W(1馬力)で主軸の速度は12段変速となる。所要床面積は1300×1000mmで、オプションで専用マシナスタントも用意されている。写真はヘッド左端に自動送り装置が装備されたM120Aで、M18Aではこの装置は省略される。価格は要問い合わせたが装備品により20~40万円となる。



金ノコで一所懸命切っていたのがウソのように、金属切断があっという間にできるバンドソー。シヨップエス14というこの製品は、テーブル寸法400×400mm、フトコロ寸法360mmで、アルミならおよそ20mm程度の材料まで切断できる能力がある。また、刃の速度は13段階に変速できる。刃をサンディングベルトに交換すれば研摩もできるということなので、多くの場面で活躍しう。価格は要問い合わせ。

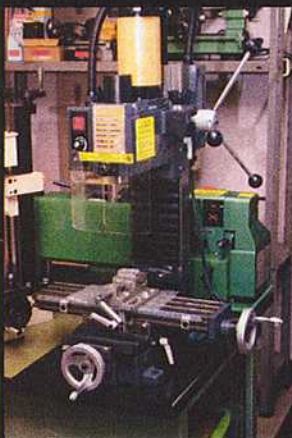
入できない可能性はたつてある。実際に工作機械を使った経験がなくても、どれほどのサイズの加工物を扱おうとしているのかという点については、あらかじめ伝えておくことが肝要と心得ておこう。

寿貿易には東京都内にショールームを持ち、ここは土曜日でも開店している。実際の製品に触れることもできる。さすがに加工はできないが、扱いたい加工物を持って行けば、どの製品で希望の加工ができるかといったテストも可能だ。

数多くの販売実績から、サンメカ向けの旋盤ならフトと実用性のバランスに優れているFL400E、フライス盤ならM18Aが、それぞれ滝本さんのお薦め商品とのこと。たたくあくまで一般的な話なので、実際に商品を選ぶ際はやはり相談した方が良さそう。

また最近ではサンメカユーザーが増えたことで、機械の使い方を聞かれることも多いが同社は製品の製造・販売を行う会社なので、使い方については作業者向けの専門書などを読んでもらいたいとのこと。心情的には聞きたい気持ちも分かるが、バイクを買いに行ったシヨップで、運転の仕方まで教えてくれ、というのがナンセンスである。ことを考えれば、自ずと理解できるはず。こっぴつした予備知識を頭に入れて製品選びをすれば、きっと充実した自作工作ライフが楽しめるはずだ。

FL400E M18Aほど大型の機械でなくても良いという場合、FL350E(旋盤)、FM100(フライス盤)が人気となる。FL350Eはバイクでの需要もさることながら、鉄道模型の自作派の人にも人気である。鉄道模型でパーツを自作する場合、旋盤は必需品と言えるツールとなるのだ。いずれも価格は要問い合わせ。



FL400E M18Aほど大型の機械でなくても良いという場合、FL350E(旋盤)、FM100(フライス盤)が人気となる。FL350Eはバイクでの需要もさることながら、鉄道模型の自作派の人にも人気である。鉄道模型でパーツを自作する場合、旋盤は必需品と言えるツールとなるのだ。いずれも価格は要問い合わせ。



これまで多くのサンメカニクスを聞いた結果、ほとんどのユーザーがこれで大丈夫という賞賛が、このFL400Eだ。心臓(旋盤)に取り付けられる工作物の最大長)400mm、ヘッド上振り(旋盤で回転させられる工作物の最大径)250mmで、チャックでくわえられる最大径は125mm。ヘッド駆動の主軸は6種のスピードを選択でき、ねじ切りも可能だ。設置する際に必要な床面積は約1200×500mmと、一般的な事務機とほとんど同一。オプションで前後方向にデジタルスケールを取り付けられることもできる。モーターは100V/500W。装備品によって価格は変動するが20万円台となる。